

保護者・学生のためのより詳しい説明

実際の入試問題を使って、この講座の効果をご説明します

7/10

スプリント生物 No.3

免疫を"認識と排除の論理"で学ぶ——自己・非自己の判断から始める

★ 清光学院の講師は、大学教員としてこれまでに皆さんのお子さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何十年も採点し合否判定を行ってきた当事者です。免疫の問題で細胞名と働きを列挙するだけの答案と、「認識の論理」で免疫全体を一本の筋として説明できる答案の評価の差を、採点者として繰り返し目にしてきた。その実感が、この講座の核心です。

1. この講座が有効な入試問題のタイプ

① 免疫の論述・記述問題

東京大学・京都大学・慶應義塾大学医学部では、「なぜT細胞がここで働くのか」「MHCの役割を説明せよ」という論述問題が出題される。細胞名と働きを列挙するだけの答案は採点者（大学教員）が低く評価し、「自己・非自己の認識」という論理で一本化された答案が高評価を得る。

② 自己免疫疾患・アレルギーの推論問題

「自己・非自己の認識が崩れるとどうなるか」という推論問題は、医学部・生命科学系入試で頻出である。認識の論理を持つ受験生は、疾患のメカニズムを暗記なしに推論できる。

③ 医学部推薦・総合型選抜の口頭試問

「免疫とは何をやる仕組みか」という問いは、医学部推薦入試の口頭試問で最も頻出なテーマの一つである。「認識と排除の論理」という一言で答えを組み立てられる受験生は、試験官（大学教員）に「本質を理解している」という印象を与える。

2. 具体的な大学・学部との対応

大学・学部	出題の傾向	本講座との対応
東京大学 理科（医学部）	免疫細胞の役割を論理で問う記述問題	認識の論理が答案を一本の筋に変える
京都大学 医学部	MHC・クローン選択を論述させる問題	自己・非自己の認識という視点が論述の根拠になる
慶應義塾大学 医学部	自己免疫疾患のメカニズムを推論する問題	認識の論理が崩れたケースの推論に直結する
医学部推薦・総合型選抜（全般）	「免疫のしくみを説明せよ」型の口頭試問	認識と排除の論理が採点者（大学教員）に際立つ

3. なぜ差がつくのか・受講後に期待できる変化

免疫を「細胞の名前と働きの暗記」で対処している受験生は、論述問題や推論問題に答えられない。授業の詳細な内容はここでは述べないが、受講後には（1）免疫全体を「自己・非自己の認識と排除」という一本の論理で説明できる、（2）MHC・クローン選択を「認識の仕組み」として語れる、（3）口頭試問で採点者（大学教員）の「それ以上を聞きたい」という反応を引き出せる、という変化が起きる。

何十年も医学部の生物答案を採点してきた清光学院の講師陣は、免疫問題で「名称列挙の答案」と「認識の論理で一本化された答案」の評価の差がいかにか大きいかを採点者として知っている。その実感が、この講座の根拠である。